

第1回 中堅教員サポート塾



平成30年6月9日(土)



千葉県総合教育センターカリキュラム開発部研究開発担当では、学校現場で頑張る先生方の支援を目指して、「中堅教員サポート塾」を土曜日に行っています。

「中堅教員サポート塾」は、年4回実施し、学校経営の中核を担うミドルリーダー（教職経験7～20年目）としての資質能力の向上を目指しています。

第1回目は、県内各地から、小・高・特別支援学校の先生方が集まり、熱心な研修が行われました。

*** どの塾も随時、募集しています。総セHPを御覧になり奮って参加してください。**

講話・演習内容

1「資質・能力を育成するためのカリキュラム・マネジメントに係るミドルリーダーの役割」

資質・能力を育成するためのカリキュラム・マネジメントを進めていくためにミドルリーダーとしてどのようにかかわっていくのかをグループ演習を通して考え、整理していきました。



2「多忙化を解消するためのミドルリーダーの役割」



教職員の勤務時間における現在に実態から、参加者それぞれが多忙化の要因について考え、それを整理してまとめました。また、それぞれの要因についての対応策をフィッシュボーンという手法を用いてまとめました。



参加者の声

「ミドルリーダー」ということを考え、若手、ベテランの間に積極的に入っていき行事や運営でリーダーシップをとっていくことが大事だと感じた。

研修内容が濃く、今の自分にはすぐには実践できないかもしれないのですが、将来に向けての知識として「忘れない」でいようと思います。

カリキュラム・マネジメントに関しては、教育課程も含め、まだ理解が不十分なところも多いので、今後も考えていきたい
会議や部会などで提案し、他の先生方にも現状を知ってもらいたいと思います。

多忙化に関しては、自分一人だけで解決できるものとそうでないものがあるのでバランスよく考えて改善していきたい。